活用アクションプログラム等の進捗状況について

- 1.「認識度を向上させる取り組み」の進捗状況
 - (1) 地元報道関係機関並びに企業広報担当部局と連携しつつ、新聞、ミニコミ・タウン誌等による連載などの手法で「人と暮らしの伊那谷遺産」の認識度向上を図る。

①中日新聞社による記事掲載

a. 中日新聞(朝刊)の紙面で連載記事掲載が5月24日より始まり、次のとおり伊那谷遺産が紹介された。

り伊那谷退座/	プガロノ C 4 6/こ。	
掲載月日	伊那谷遺産の名称	見出し文
5月24日	座光寺石川除	存在感ある石積み整然
5月31日	入舟船着場	街道の物資運んだ要所
6月 6日	名古山の水除け	土地守った知恵の証し
6月13日	伝兵衛五井	水利事業に大きな功績
6月20日	六地蔵と三界萬霊塔	激流沈めるかのまなざし
6月27日	御子柴艶三郎による井戸	私財かけて水脈を発見
7月 4日	川路郷家屋移転記念碑	「三六災害」復旧祝い建立
7月11日	三六災最高水位標	今も昔も自然猛威感じる
7月18日	大西山崩壊地	豪雨の爪痕今も山肌に
7月25日	四徳集落跡	「三六災害」古里"奪う"
8月 1日	小渋橋	土石流しのぎ不変の姿
8月 1日	濁流の子(出版物)	子がつづった「三六災害」
8月 8日	さんよりこより	健康を願い 竹で鬼退治
8月17日	惣兵衛堤防	巨石に宿る治水の祈り
8月22日	千人塚公園と城ヶ池	戦国と今つなぐ懸け橋
8月29日	遠山の埋没林	いにしえの地震"証言"
9月 5日	霞堤	洪水調節 豊かな土守る
9月12日	姑射橋	中国の古代伝説に由来
9月19日	大橋	今も昔も行き交う人々
9月26日	河原弁天	村境争いで「大岡裁き」
10月 3日	大平峠	旅人が通った険しい道
10月10日	千畳敷カール	紅葉彩る中アの大自然
10月17日	諏訪形の猪垣	動物と人間戦いの歴史
10月24日	時又港	"川の道"にぎわい今は昔
10月31日	松川プール	川の水を引き入れ建設
11月 7日	夜泣き石	水害の悲しい物語伝承
11月14日	天竜橋	秘境駅へと続くつり橋
11月21日	遠山森林鉄道梨元貯木場	木材景気の記憶を今に
11月28日	めがね橋	地域近代化一役果たす
12月12日	粟沢川掘り抜き	村人の苦労刻む大工事
12月19日	理兵堤防	親子三代築造受け継ぐ

12月26日	遠山の霜月祭り	神々の舞に酔いしれる
1月 9日	虹橋	水の流れと一緒に渡る
1月16日	木曽山用水	先人の知恵 伊那谷潤す
1月23日	恩田井水	難事業で豊かな田畑に
1月30日	小黒発電所	地域発展に大きく貢献
2月 6日	南宮大橋	独特の優美な姿 斜張橋
2月13日	北の城橋	朱色に輝く住民の道
2月20日	出砂原の大石	土石流災害の記憶残す
2月27日	伊那路橋	威厳放つ主要街道の橋

②長野日報社による記事掲載

a. 長野日報(朝刊)の紙面で連載記事掲載が7月2日より始まり、次のとおり 伊那谷遺産が紹介された。

(第1部)

伊那谷遺産の名称	見出し文
大橋	東西の暮らしをつなぐ
伊那街道	中馬がつないだ運送の道
旧深沢川水路橋	役割終え生活道路に転用
北川集落跡	土石流で埋もれた集落
伝兵衛五井	三峰川の水で農業支える
大西山崩壊地	桜咲く「憩いの場所」に
北の城橋	朱色のつり橋 桜と共演
大久保発電所	天竜川本流せき止め建設
小渋橋	三六災害乗り越え集落結ぶ
御子柴艶三郎の井	水争いに心痛めて開削
霞堤	"霞たなびく"自衛堤防
諏訪形の猪垣	野生動物から農作物守る
粟沢川掘り抜き	尾根を切り、水害免れる
伊那路橋	親柱に旧橋のデザイン
虹橋	三峰川右岸の田畑潤す
お志茂の水除け	あふれた水の直撃避ける
	大橋 伊那街道 旧深沢川水路橋 北川集落跡 伝兵衛五井 大西山崩壊地 北の城橋 大久保発電所 小渋橋 御子柴艶三郎の井 霞堤 諏訪形の猪垣 粟沢川掘り抜き 伊那路橋 虹橋

(第2部)

掲載月日	伊那谷遺産の名称	見出し文
1月14日	太田切川の井筋	防災も担う農業用水路
1月21日	三界萬霊塔と六地蔵	未の満水の被害を伝える
1月28日	座光寺石川除	村を守る石積みの堤防
2月 4日	夜泣き地蔵/出砂原の大石	土石流で埋まった地域
2月11日	めがね橋 (長姫橋)	長姫城郭の石で整備
2月25日	惣兵衛堤防	名工が築いた強固な石堤

③小渋川砂防出張所の事業広報誌による記事掲載

a. 事業広報誌(くろゆり通信)の紙面で連載記事掲載が2月発行版より始まり、 次のとおり伊那谷遺産が紹介された。

掲載月日	伊那谷遺産の名称		
0 11 4% (-1111)	キルシュ //エアかますよ ギロ トッコキ)		
2月発行版	該当なし(伊那谷遺産を説明する記事)		
4月発行版	上蔵砂防堰堤		
5月発行版	大西山崩壊地		
3万元门版	八百円肋級地		
6月発行版	小渋橋		
7月発行版	北川集落跡		
8月発行版	鳶が巣大崩壊地		
9月発行版	地蔵峠		

④遠山川砂防出張所の事業広報誌による記事掲載

a. 事業広報誌(カモシカ通信)の紙面で連載記事掲載が4月発行版より始まり、 次のとおり伊那谷遺産が紹介された。

y	A 102/200 / R57 1 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
掲載月日	伊那谷遺産の名称
4月発行版	該当なし(伊那谷遺産を説明する記事)
5月発行版	名古山の水除け/泰阜ダム
6月発行版	遠山の埋没林/平岡ダム
7月発行版	夜川瀬地区の氾濫/河原弁天
8月発行版	三信鉄道
9月発行版	三六災最高水位標
10月発行版	遠山の森林鉄道
11月発行版	天龍村の霜月神楽
12月発行版	遠山の霜月祭
1月発行版	天竜橋
2月発行版	羽衣崎橋

⑤天竜川総合学習館かわらんべの広報誌による記事掲載

a.「かわらんべ通信」の6月発行版で伊那谷遺産が紹介されるとともに、連載記事掲載が1月発刊版より始まり、次のとおり伊那谷遺産が紹介された。

掲載月日	伊那谷遺産の名称		
6月発行版	該当なし(伊那谷遺産を説明する記事)		
1月発行版	三六災最高水位標		
2月発行版	姑射橋		
3月発行版	時又港		

⑥その他

- a. 1月29日より、「ビューポイント募集」のチラシ及びポスターを関係部局に配布すると共に、事務局のウェブサイト等を活用した広報活動を展開した。
- b. 7月3日に放送された「SBCラジオ放送 坂ちゃんのずくだぜえぶりでい 伊那谷めぐりあい」に事務局が出演し、プロジェクトの説明をした。
- c. 10月30日に開催された「三遠南信サミット2013in南信州」でパネル展示及び追加選定候補の公募チラシの配布を実施した。
- d. 1月17日に開催された「土木遺産保存シンポジウム 土木遺産を地域資産に」でパネル展示(人と暮らしの伊那谷遺産水彩画ギャラリー)を実施した。

- 2.「情報プラットフォームの整備」の進捗状況
 - (1)「人と暮らしの伊那谷遺産の説明資料(個票)」を作成する。
 - ①第3回選定委員会(3月18日)終了後に、第2回選定委員会(1月29日)で選定した48件の説明資料(個票)を公開した。
 - ②第4回選定委員会(10月3日)終了後に、第3回選定委員会(3月18日)で追加選定した31件の説明資料(個票)を公開した。
 - ③1月7日に、第4回選定委員会(10月3日)で追加選定した10件の説明資料(個票)を公開した。
 - (2) 高遠ぶらり制作委員会と連携しつつ、アプリ「高遠ぶらり」に「人と暮らしの伊那谷遺産」に関する情報をアップデートし、参加型プロジェクトの検討及び実現を促進させる。
 - ①選定の対象地域を含む伊那谷全域とこれを2分割(上伊那地域と飯伊地域)したリアルな鳥瞰図を作成した。
 - ②各伊那谷遺産の位置情報や説明文等を整理し、アプリ「高遠ぶらり」のアップデートを2月21日に実施した。
 - (3)「人と暮らしの伊那谷遺産」を集積させる、又は進化させることができるような仕組みを整備する。(「伊那谷遺産デジタルコモンズ」の構築)
 - ①事務局のウェブサイトに「伊那谷遺産デジタルコモンズ」のページを4月25 日に開設した。

一次データ(基礎資料)

9 (7) (ALIVE) (11)						
	資	料	\mathcal{O}	種	類	
「説明資料(個票)」						
「説明資料(個票)」を	参照す	るた	めの	QR	コー	K
「選定委員会HP」を	参照す	るた	めの	QR	コー	- K
「Google 地図情報」						
「Google 地図情報」を	参照了	するか	こめ0) Q F	{コ-	ード

二次データ(コンテンツ)

	資	料	の	種	類	
くろゆり通信						
カモシカ通信						
広報誌かわらんべ						
中日新聞 連載記事						
長野日報 連載記事						
長野日報 連載記事に掲載された水彩画						

②事務局のウェブサイトに「ステレオ写真ギャラリー」のページを4月8日に開設した。

公開したステレオ写真

公開月日	伊那谷遺産の名称
4月 8日	理兵衛堤防
4月25日	三峰川の霞堤
4月25日	坂戸橋
5月22日	三界萬霊塔/六地蔵
5月22日	さんよりこより(川手の天伯社、桜井の天伯社)
5月22日	泰阜ダム
6月 3日	座光寺石川除
6月 3日	千畳敷カール
6月14日	大西山崩壊地
7月 9日	小渋橋
7月19日	大橋
7月19日	伝兵衛五井
8月 2日	小渋ダム
10月 3日	(旧)深沢川水路橋
10月 3日	木曽山用水
10月 3日	伊那市諏訪形の猪垣
10月 3日	西天竜幹線水路 円筒分水工群
10月18日	田切地形
11月19日	上蔵砂防堰堤
11月19日	びったら橋
11月19日	北の沢眼鏡橋
11月19日	伊那路橋

- 3.「伊那谷遺産を巡るガイドツアーの開催」の進捗状況
 - (1) 伊那谷遺産を活用した「三峰川沿川ガイドツアー」の開催
 - ①三峰川沿川は、水害や土砂災害に適応し、水の恵みとふれあうことができるようにしてきた先人の足跡を数多く垣間見ることができることから、既に伊那谷 遺産に選定されているもの以外の地域資源を含めて、この地域の先人の足跡を網羅的に説明できるように配慮することとした。
 - ②「三峰川みらい会議」との協働作業により、ガイドツアーを実施するために必要となる次の2つのツールを作成した。
 - a. 桜ウォーキングガイドマップ
 - b. ガイド資料(各地域資源を解説する資料)
 - (2) 伊那谷遺産を活用した「かわらんべ講座」の開催
 - ①「天竜川総合学習館かわらんべ」が実施している「かわらんべ講座」で伊那谷 遺産を活用した講座を次のとおり実施した。
 - a. 6月29日 ~三六災害の遺産を訪ねる~
 - ・三六災害の記憶を風化させないために企画したツアーで、「三六災最 高水位標」や姑射橋を紹介。
 - b. 11月3日 ~駒ヶ根高原で遠足~
 - ・千畳敷カール、田切地形、太田切川井筋を紹介。
 - c. 11月8日 ~写真講座:伊那谷遺産巡り~
 - ・伊那谷遺産を巡り、写真撮影を行った。
 - d. 12月8日 ~教えて!河川工事のこと~
 - ・座光寺石川除を紹介。